

和泉市営住宅入居者アンケート調査結果

1. 調査概要

(1) 調査の目的

和泉市営住宅の居住者の、現在の生活の状況や定住・住み替えに対する意向、地域に必要な施設・サービスや地域の将来像に関する意向などを把握し、市営住宅のあり方や地域のまちづくりの検討の基礎データを得ることを目的として調査を行った。

(2) 調査対象

市営住宅のうち、伯太、丸笠、和泉第一、旭第一、旭第二、幸、幸第二、山手、永尾、王子第一、王子第二団地を調査対象とした。

(3) 配布・回収方法

各住戸の郵便受けに投函し配布し、同封した返信封筒で郵送にて回収した。

(4) 調査期間

平成 30 年 1 月 23 日（投函日）～平成 30 年 2 月 7 日（締切日）

※調査期間中、丸笠(1/28)、伯太（1/28）、和泉第一（2/4）、幸(2/4)の各団地集会所において「アンケート記入相談会」を実施した。

(5) 調査票配付数および回収数

	実配布数	回収数	回収率
丸笠団地	66	43	65.2%
伯太団地	51	36	70.6%
和泉第一団地	183	60	32.8%
幸団地	174	62	35.6%
幸第二団地	201	66	32.8%
王子第一団地	58	25	43.1%
王子第二団地	116	38	32.8%
旭第一団地	104	34	32.7%
旭第二団地	239	91	38.1%
山手団地	111	30	27.0%
永尾団地	131	42	32.1%
合計	1,434	527	36.8%

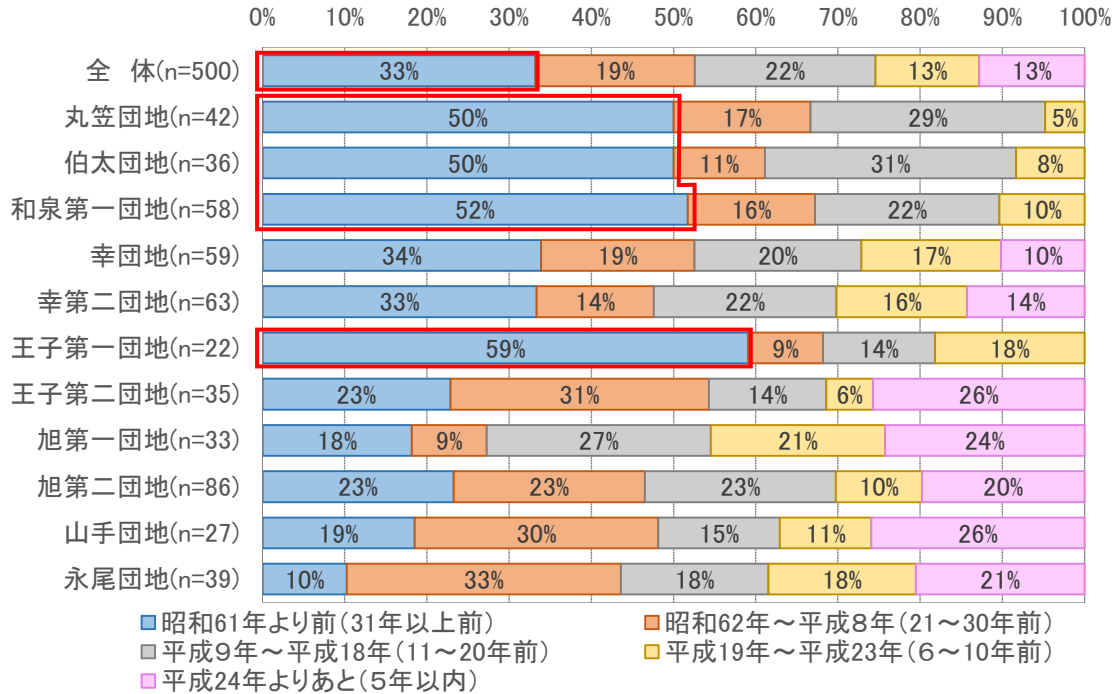
※統計学上、一般的に有効とされる誤差範囲 5.0%、信頼度 95%を用いて、配布数 1,434 に対して必要な回収数 n を算定すると、 $n=303$ となる。本調査の回収数 527 は必要な回収数を上回っている。

2. 調査結果

※本集計結果は、特記がある場合を除き、無回答を除外して集計している。

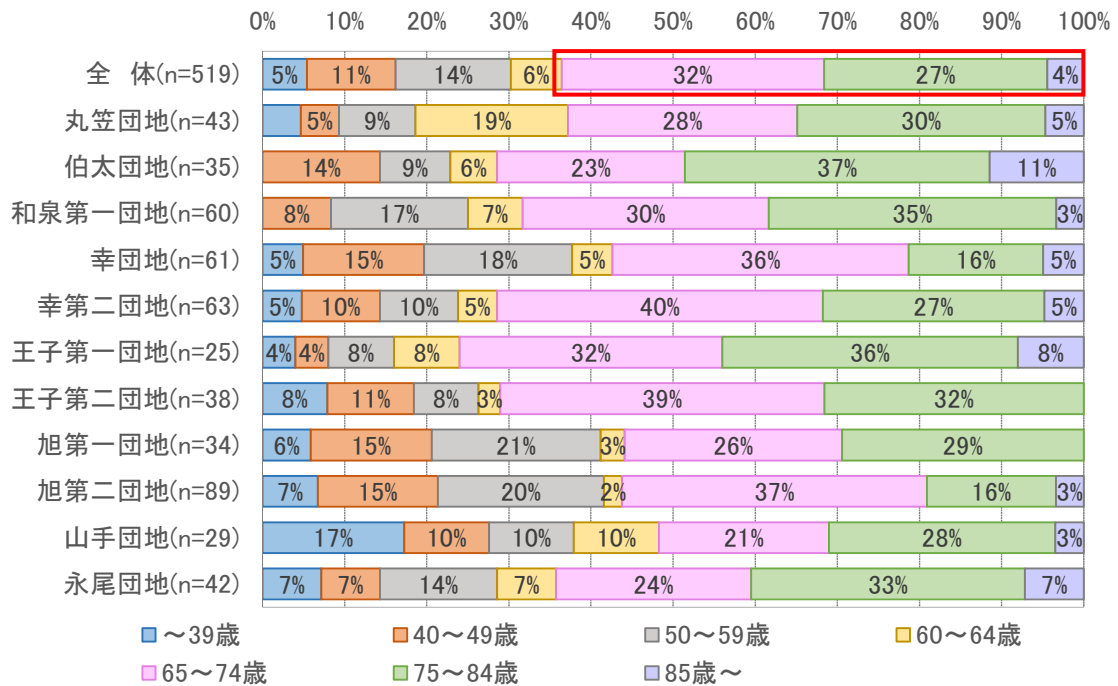
(1) 入居時期

・「昭和61年より前(31年以上前)」が全体の3分の1であり、昭和40年代に竣工した丸笠、伯太、和泉第一団地、昭和50年代の王子第一団地では半数以上を占めている。



(2) 世帯主年齢

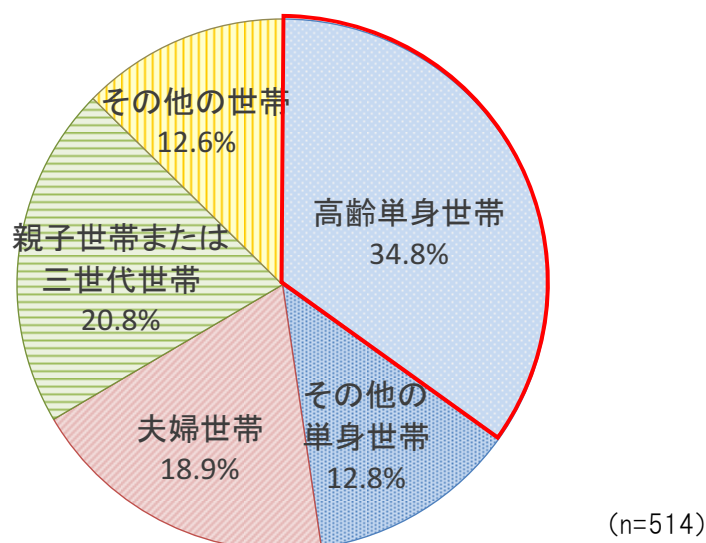
・世帯主*が65歳以上の高齢者である世帯は、全体の約3分の2を占めている。



※アンケート調査では「世帯の代表」が回答するよう依頼しており、この「世帯の代表」を「世帯主」と表記している。住民票等の世帯主とは異なる場合がある。

(3) 世帯構成

- ・約半数近くが単身世帯で、高齢単身世帯が全体の3分の1を占めている。
- ・夫婦世帯、親子世帯または三世帯世帯はそれぞれ全体の2割程度である。

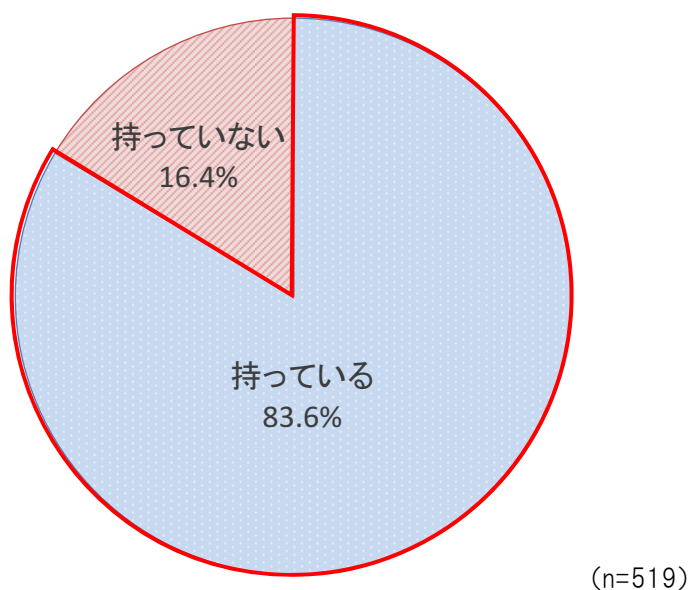


世帯構成は、アンケート調査の選択肢を下記区分で集計した。

【高齢単身世帯】「1. ひとり暮らし」のうち、65歳以上 【その他の単身世帯】「1. ひとり暮らし」のうち、65歳未満 【夫婦世帯】「2. 配偶者」のみ 【親子世帯】「3. あなたの親」のみ / 「3. あなたの親+2. 配偶者」 / 「7. 子どもやその配偶者」のみ 【三世帯世帯】「3. あなたの親+7. 子どもやその配偶者」 / 「3. あなたの親+7. 子どもやその配偶者+2. 配偶者」 / 「7. 子どもやその配偶者+8. 孫やその配偶者」 / 「7. 子どもやその配偶者+8. 孫やその配偶者+2. 配偶者」 / 「3. あなたの親+4. あなたの祖父母」 / 「3. あなたの親+4. あなたの祖父母+2. 配偶者」

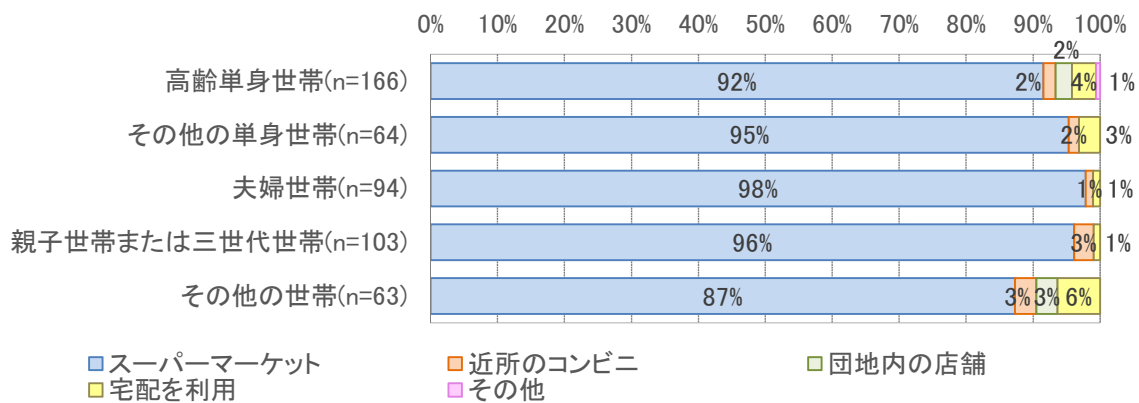
(4) 自動車、自転車、バイク（原付やシニアカー含む）の所持状況

- ・8割以上が自動車、自転車、バイクのいずれかを所持している
- ・所持している場合の平均所持台数は、自動車は1.2台、自転車は1.5台、バイクは1.1台である。 ※図表非掲載



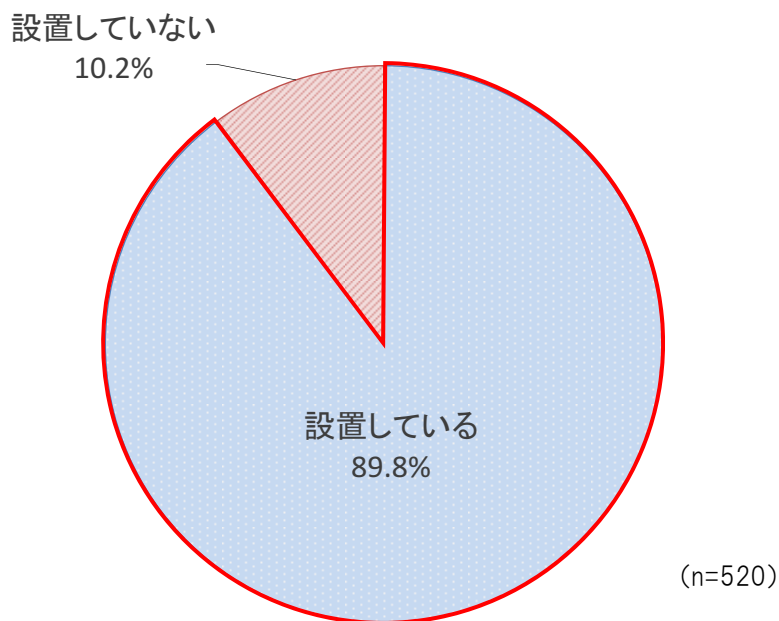
(5) 日用品や食料品の購入場所

・どの世帯構成も9割程度がスーパーマーケットで日用品や食料品を購入している。



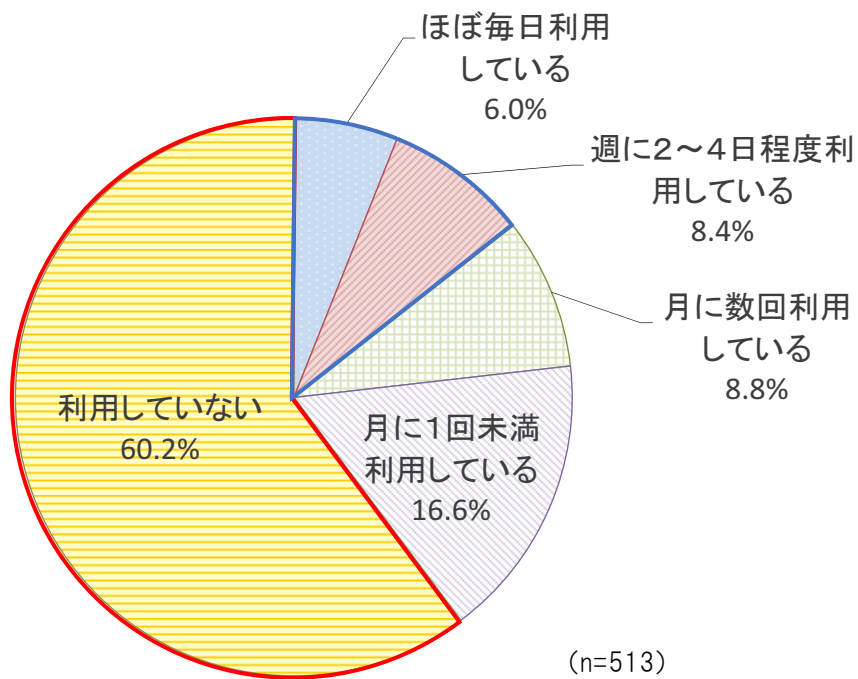
(6) 浴槽の設置状況

・全体の9割が浴槽を設置している。
 ・団地による設置状況の大きな差はない。※図表非掲載

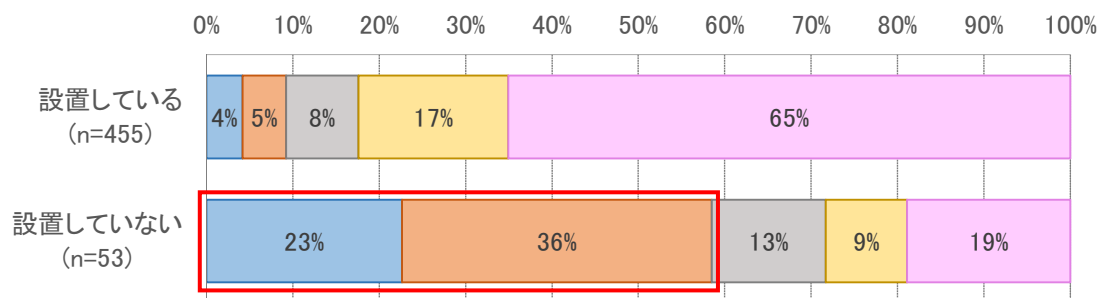


(7) 小栗の湯の利用状況

- 全体の1割強が日常的に（週数回以上）利用している一方、6割は小栗の湯を利用していない。
- 浴槽の設置状況別にみると、浴槽を設置していない世帯では、半数以上が小栗の湯を日常的に利用している。



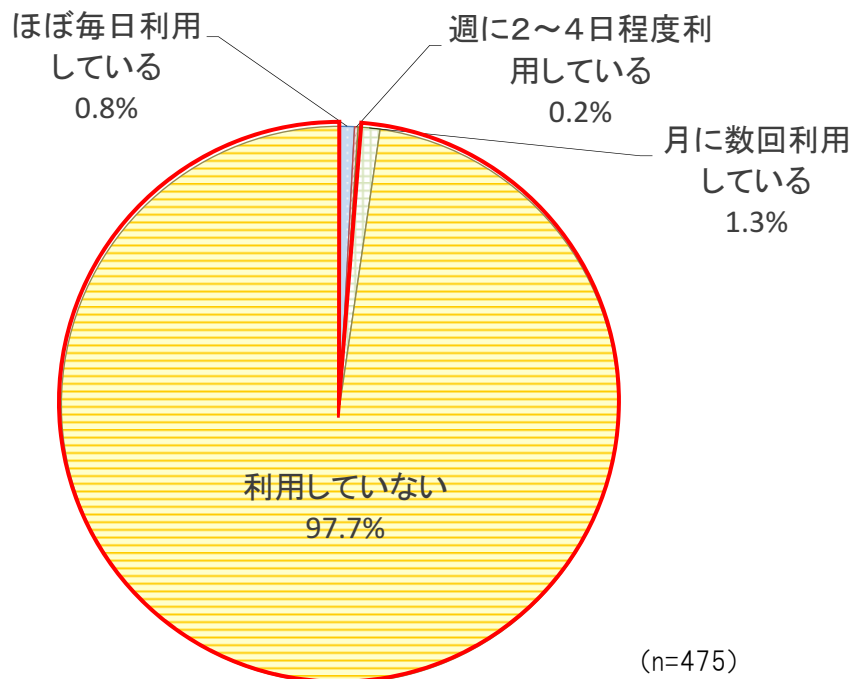
■浴槽の設置状況別 小栗の湯の利用状況



- ほぼ毎日利用している
- 週に2~4日程度利用している
- 月に数回利用している
- たまに利用(月に1回未満)している
- 利用していない

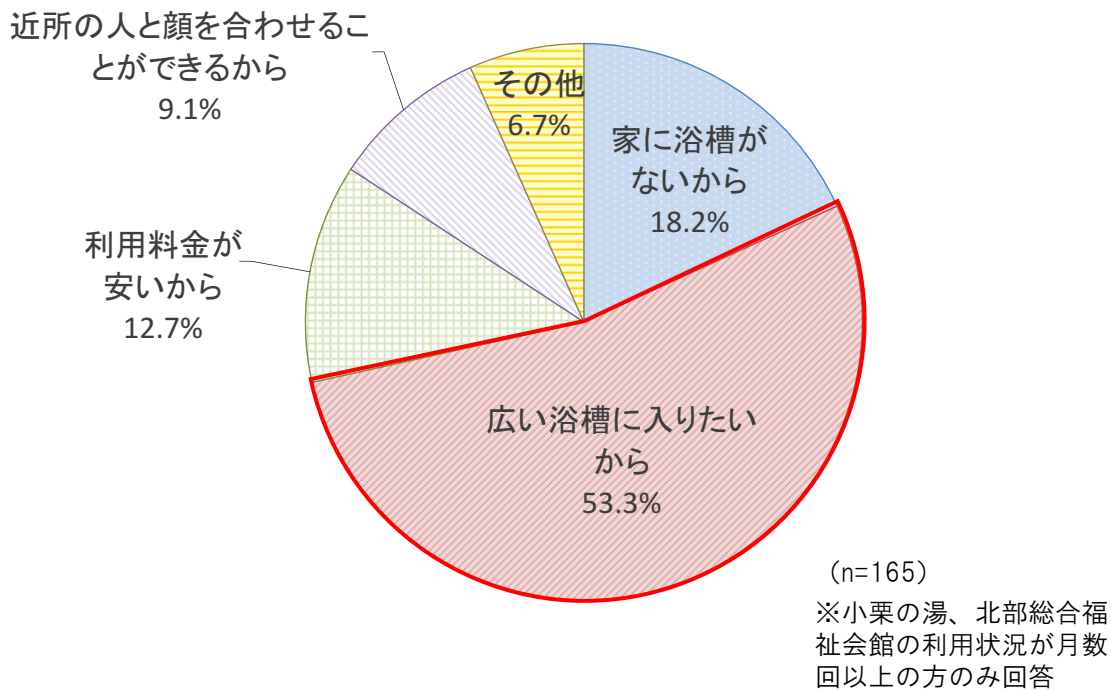
(8) 北部総合福祉会館の浴場の利用状況

・北部総合福祉会館の浴場を利用している世帯はほとんどいない。



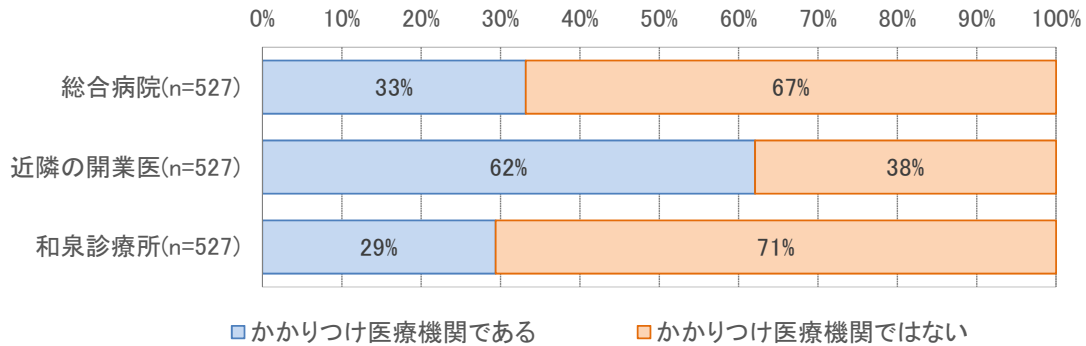
(9) 小栗の湯、北部総合福祉会館の浴場を利用する理由 (いずれかの浴場の利用世帯)

・「広い浴槽に入りたいから」が約半数と最も多く、次いで「家に浴槽がないから」の18.2%、「利用料金が安いから」の12.7%の順に多い。



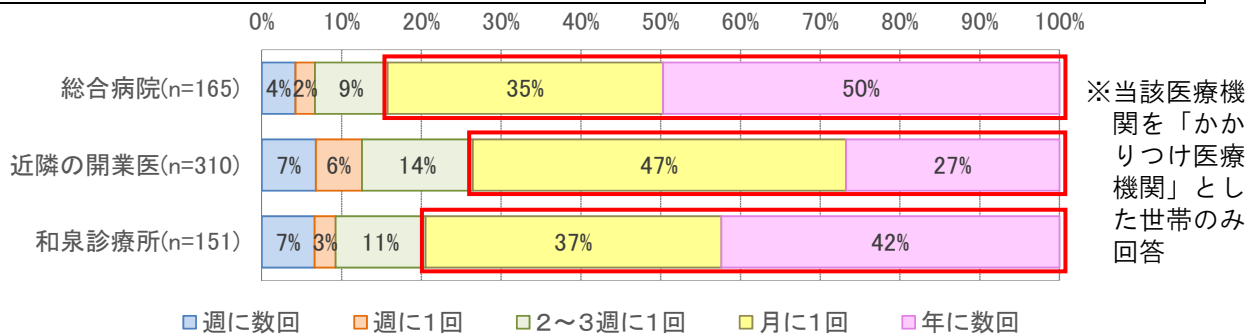
(10) かかりつけ医療機関

- ・「近隣の開業医」をかかりつけ医療機関にしている世帯は6割、「総合病院」、「和泉診療所」をかかりつけ医療機関にしている世帯はそれぞれ3割である。
- ・「総合病院」は和泉市立病院、府中病院、近畿大学医学部附属病院が多く、「近隣の開業医」はオクダ内科医院、山本胃腸科外科、大島クリニックが多い。※図表非掲載



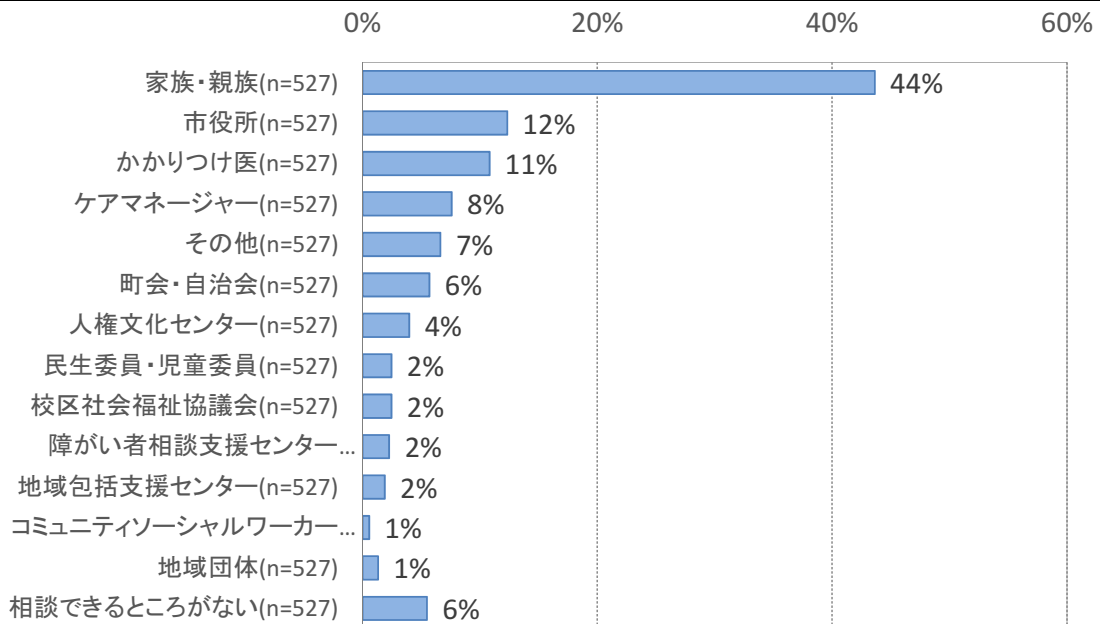
(11) かかりつけ医療機関の受診頻度（当該医療機関を「かかりつけ医療機関」とした世帯）

- ・いずれの医療機関とも、受診頻度が月に1回以下の世帯が7～8割程度である。



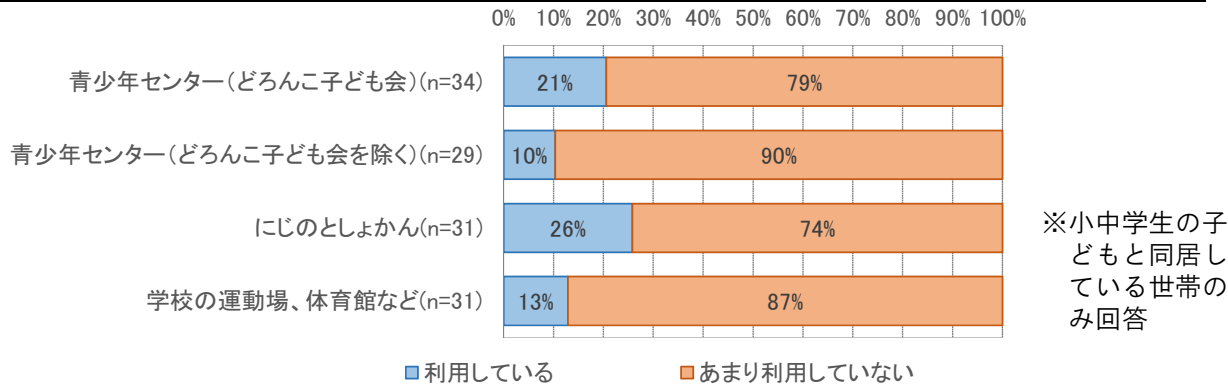
(12) 暮らしの悩みの相談場所

- ・「家族・親族」が44%と最も多く、次いで「市役所」12%、「かかりつけ医」11%の順に多い。
- ・6%の世帯が「相談できるところがない」と回答している。
- ・その他は友人・知人や訪問介護のヘルパー等である。※図表非掲載



(13) 放課後に子どもが利用している施設（小中学生の子どもと同居する世帯）

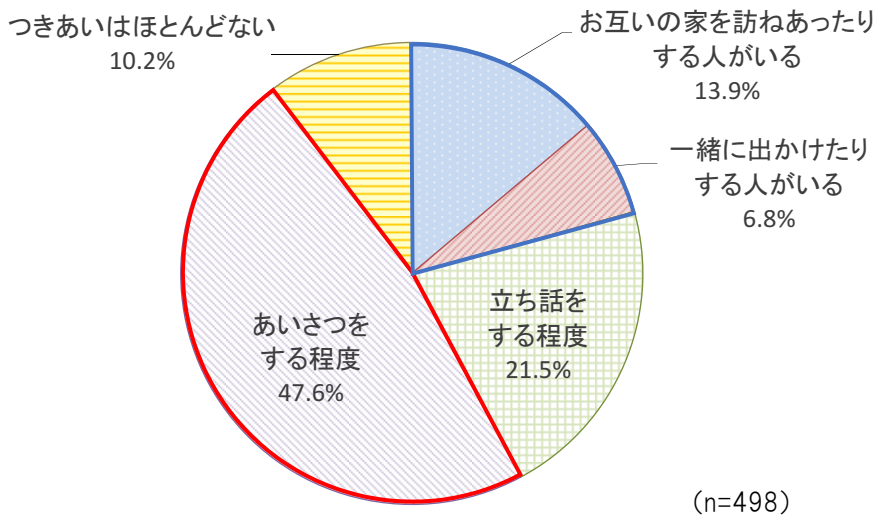
・割合で見ると、「にじのとしょかん」が26%と最も利用されている。



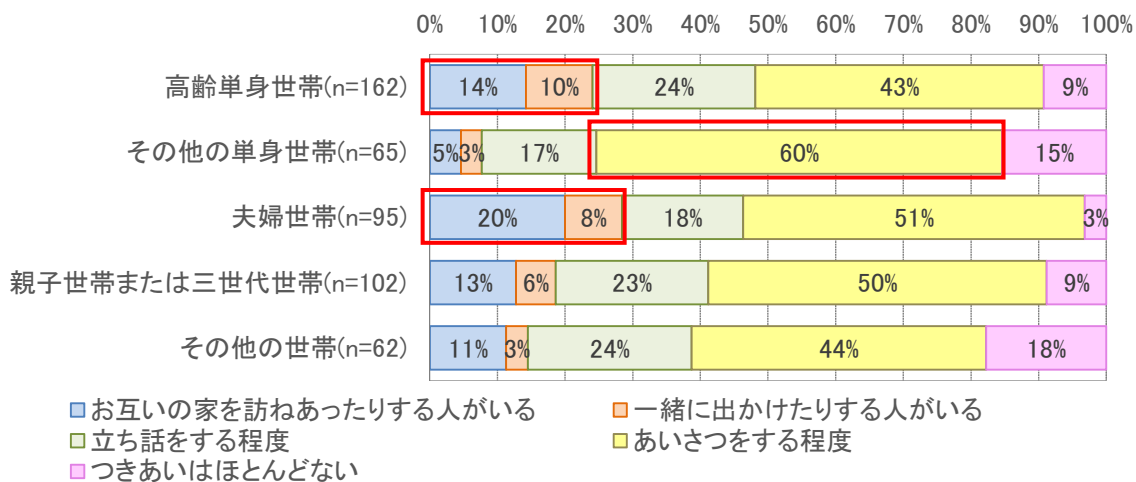
(14) 地域の方とのつきあい

・「あいさつをする程度」が全体の約半数を占めている。また、2割が「お互いの家を訪ねあったりする人がいる」または「一緒に出かけたりする人がいる」と回答し、日常的なつきあいがある。一方で、1割が「つきあいはほとんどない」と回答している。

・世帯構成別にみると、高齢単身世帯と夫婦世帯でつきあいのある世帯の割合が高い。一方でその他の単身世帯は「あいさつをする程度」が6割を占めている。

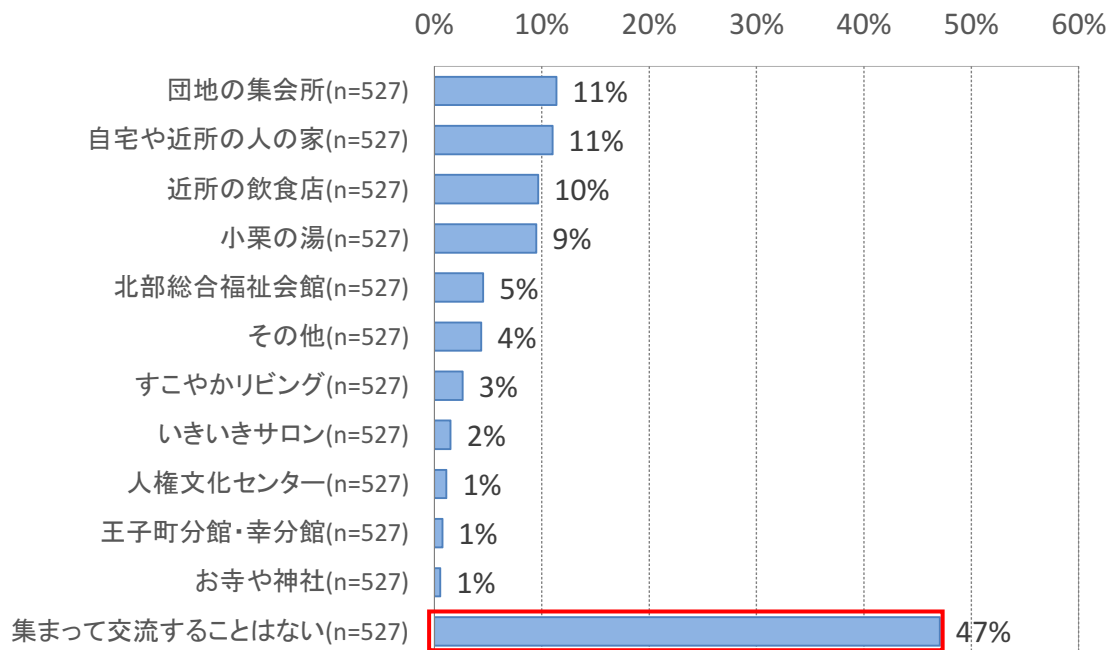


■世帯構成別 地域の方とのつきあい

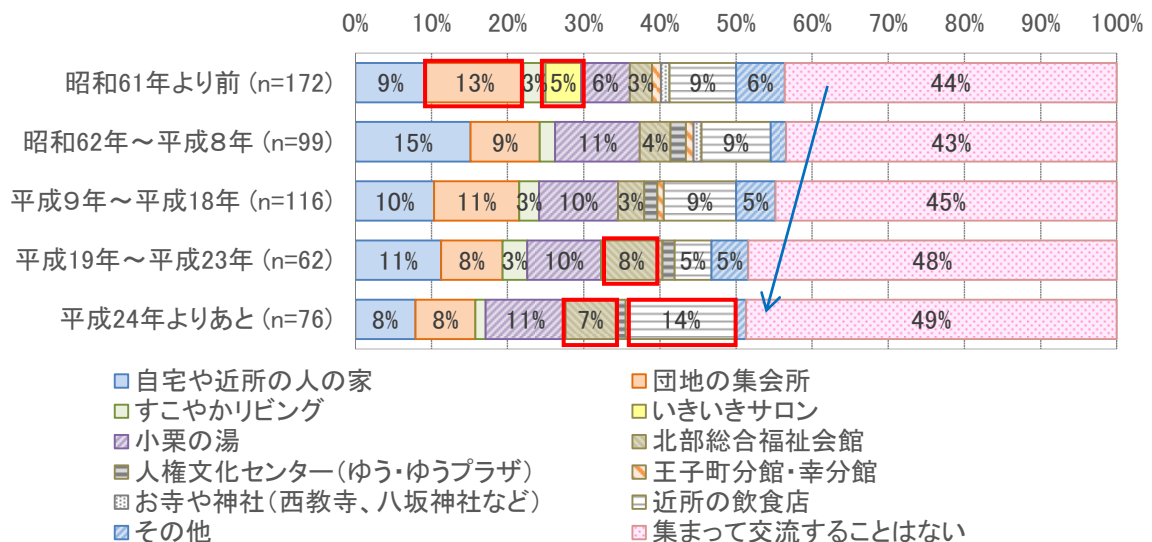


(15) 地域の方との交流の場所

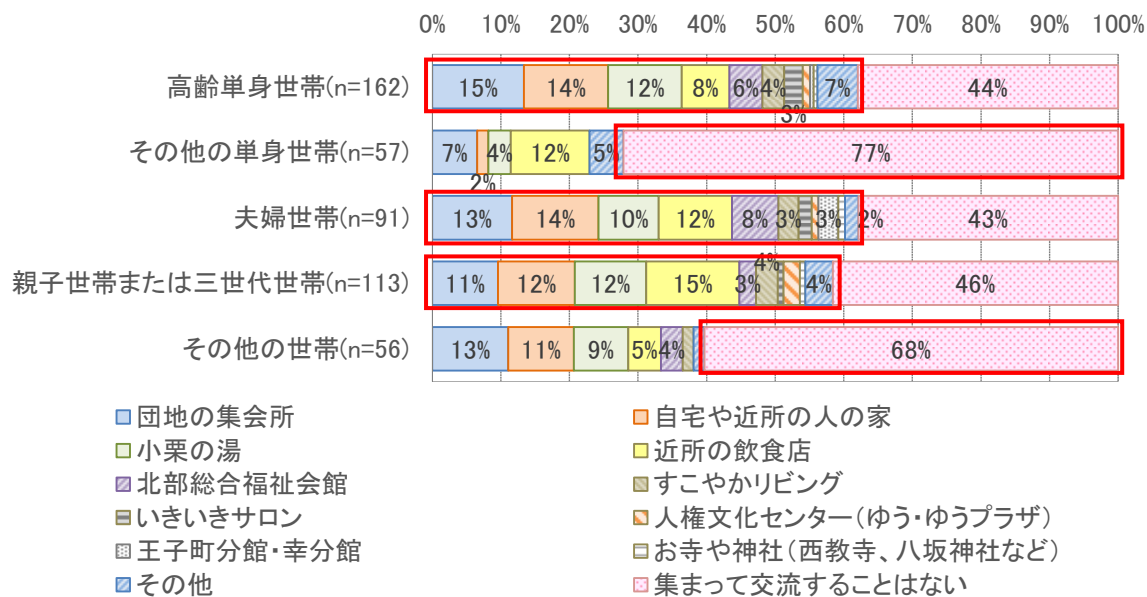
- 全体の約半数が「集まって交流することはない」と回答している。
- 交流の場所がある場合、「団地集会所」「自宅や近所の人の家」「近所の飲食店」「小栗の湯」を交流場所としている世帯がそれぞれ1割程度である。
- 入居時期別にみると、入居期間が長い世帯では「団地の集会所」や「いきいきサロン」を交流の場所としている割合が若干高く、入居期間が短い世帯では「近所の飲食店」や「北部総合福祉会館」の割合が若干高い。また、入居期間が短いほど「集まって交流することはない」と回答している割合が高い傾向にある。
- 世帯構成別にみると「その他の単身世帯」「その他の世帯」の7～8割が「集まって交流することはない」と回答している。一方、「高齢単身世帯」「夫婦世帯」「親子世帯または三世帯世帯」では半数以上が、いずれかの場所を交流の場に行っていると回答している。



■入居時期別 地域の方との交流の場

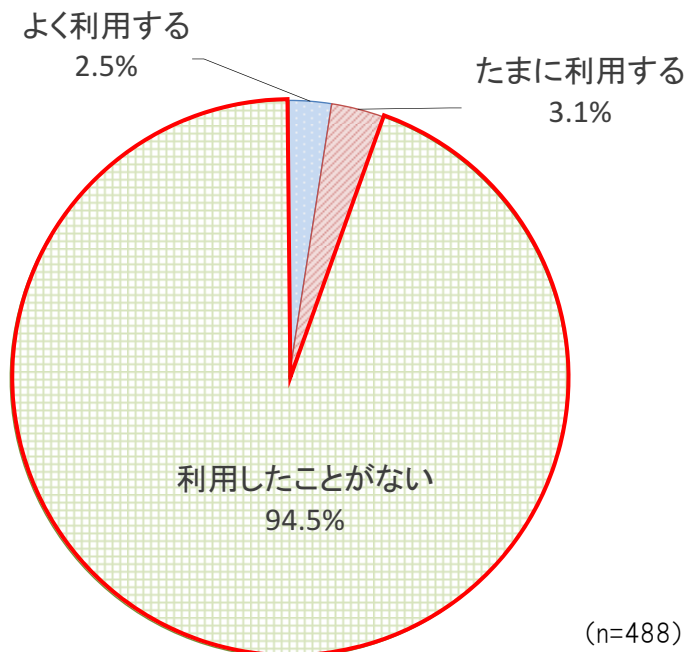


■世帯構成 地域の方との交流の場

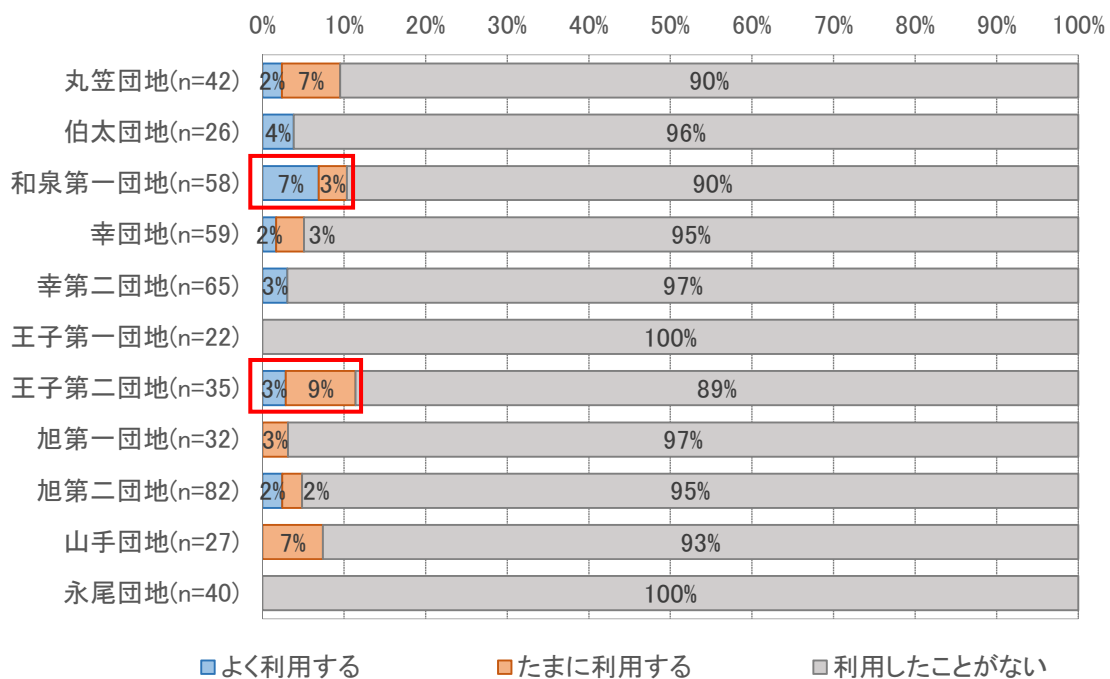


(16) 「すこやかリビング」の利用状況

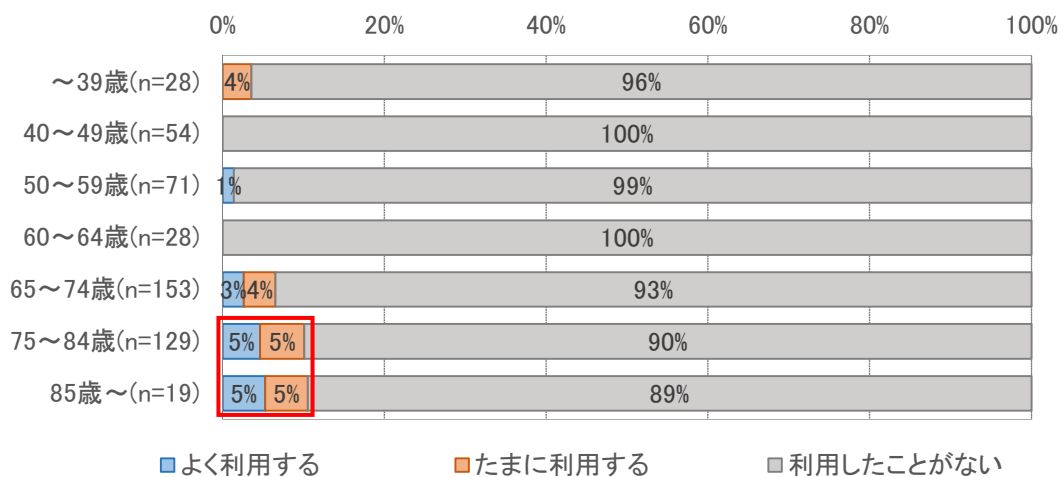
- ・全体の9割以上が「すこやかリビング」を利用したことがないと回答している。
- ・団地別にみると、「すこやかリビング」がある和泉第一団地や、王子第二団地では利用している割合が1割と他団地と比べて若干高い。
- ・年齢別にみると、世帯主が75歳以上の世帯の利用している割合が1割と若干高い。一方、世帯主が60歳未満の世帯はほとんど利用していない。



■団地別 「すこやかリビング」の利用状況

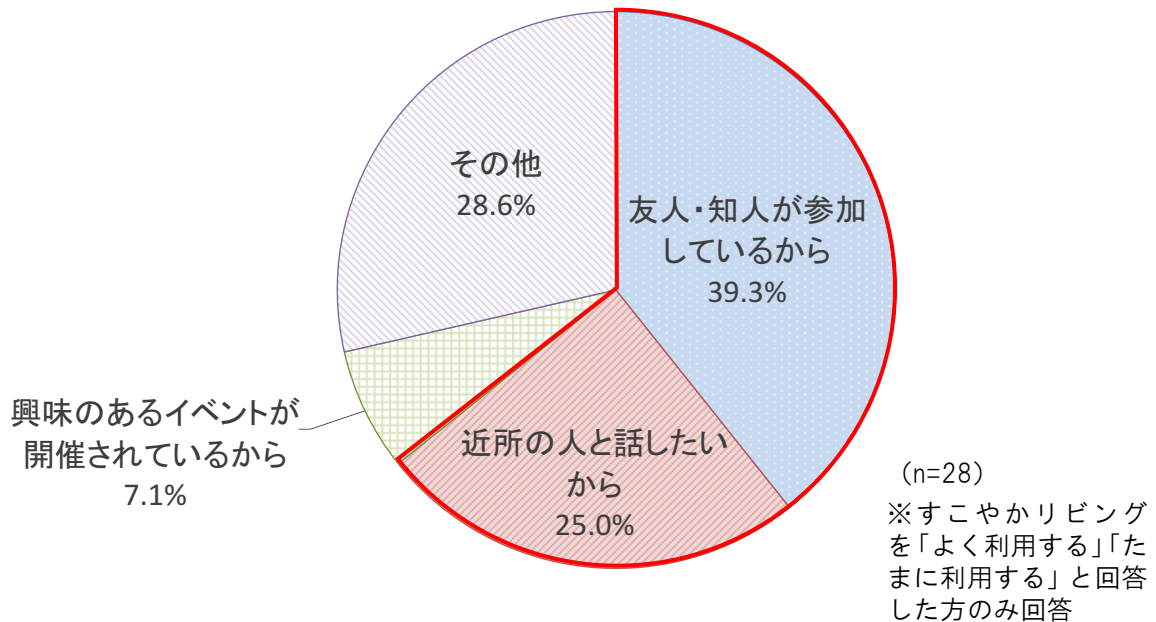


■年齢別 「すこやかリビング」の利用状況



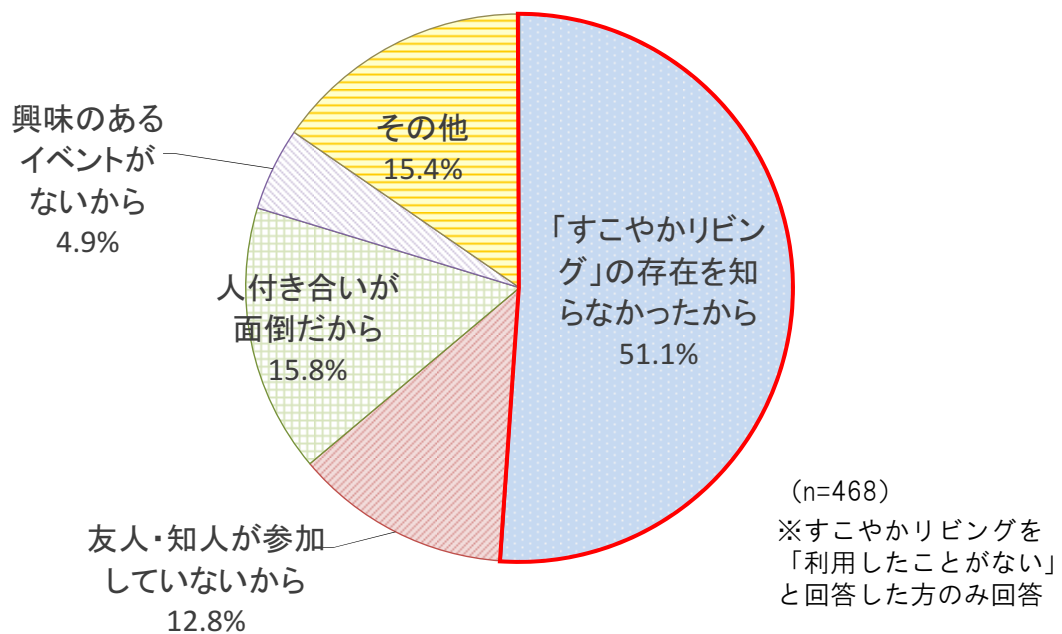
(17) 「すこやかリビング」を利用している理由（「よく利用する」「たまに利用する」世帯）

- ・ 6割が「友人・知人が参加しているから」または「近所の人と話したいから」と回答し、他の方との交流を目的に「すこやかリビング」を利用している。



(18) 「すこやかリビング」を利用していない理由（「利用したことがない」世帯）

- ・ 約半数が存在を知らなかったために「すこやかリビング」を利用していないと回答している。

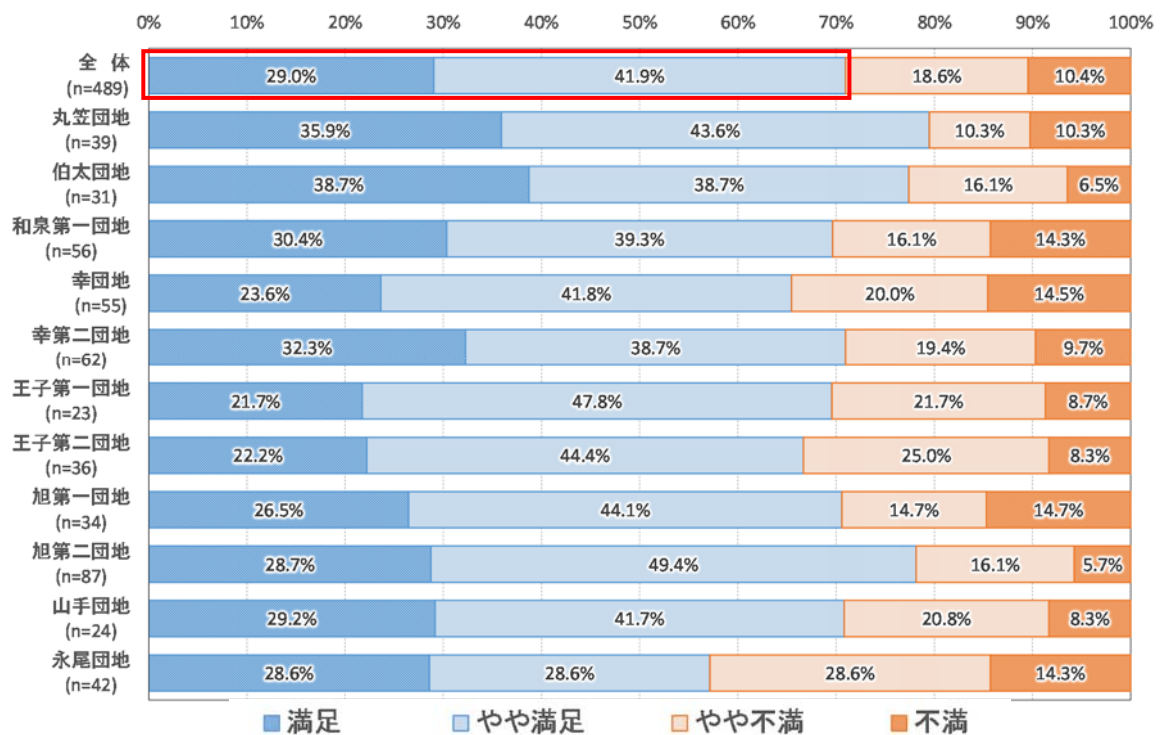


(19) 住んでいる住宅や住環境の満足度

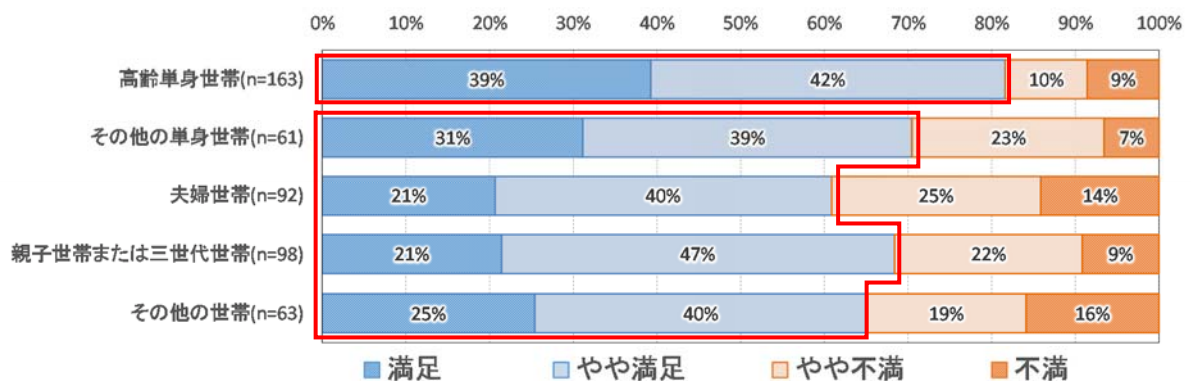
■住みやすさ

- ・全体の7割が「満足」または「やや満足」と回答している。
- ・団地別にみると、丸笠、伯太、旭第二団地は他団地と比べて満足度が若干高い傾向にある。
- ・世帯構成別にみると、高齢単身世帯は8割が「満足」または「やや満足」と回答しているが、他の世帯構成では6～7割に留まっている。

○団地別 住みやすさの満足度



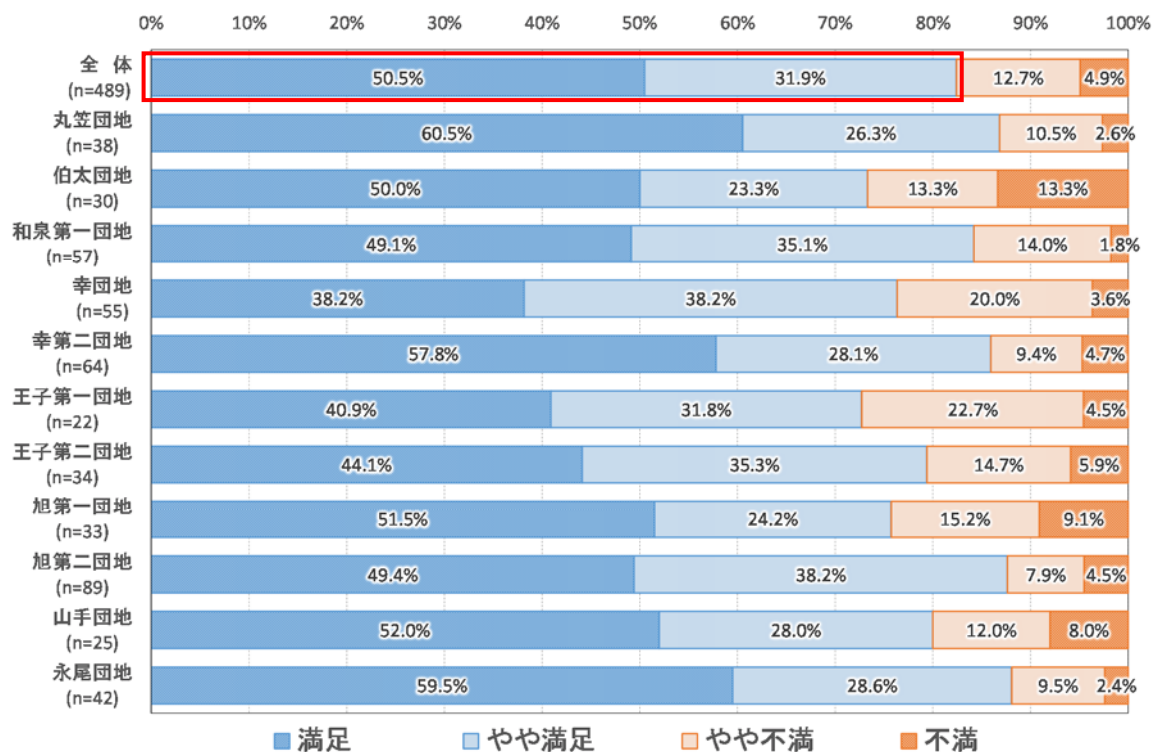
○世帯構成別 住みやすさの満足度



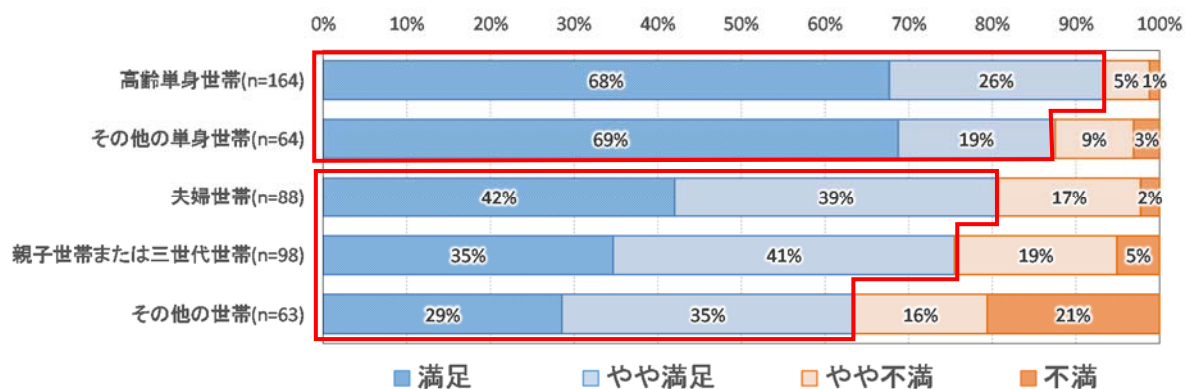
■住宅の広さ・部屋数

- ・全体の8割が「満足」または「やや満足」と回答している。
- ・世帯構成別にみると、単身世帯は満足度が高いが、夫婦世帯や親子世帯または三世帯世帯では、満足度が比較的低い。

○団地別 住宅の広さ・部屋数の満足度

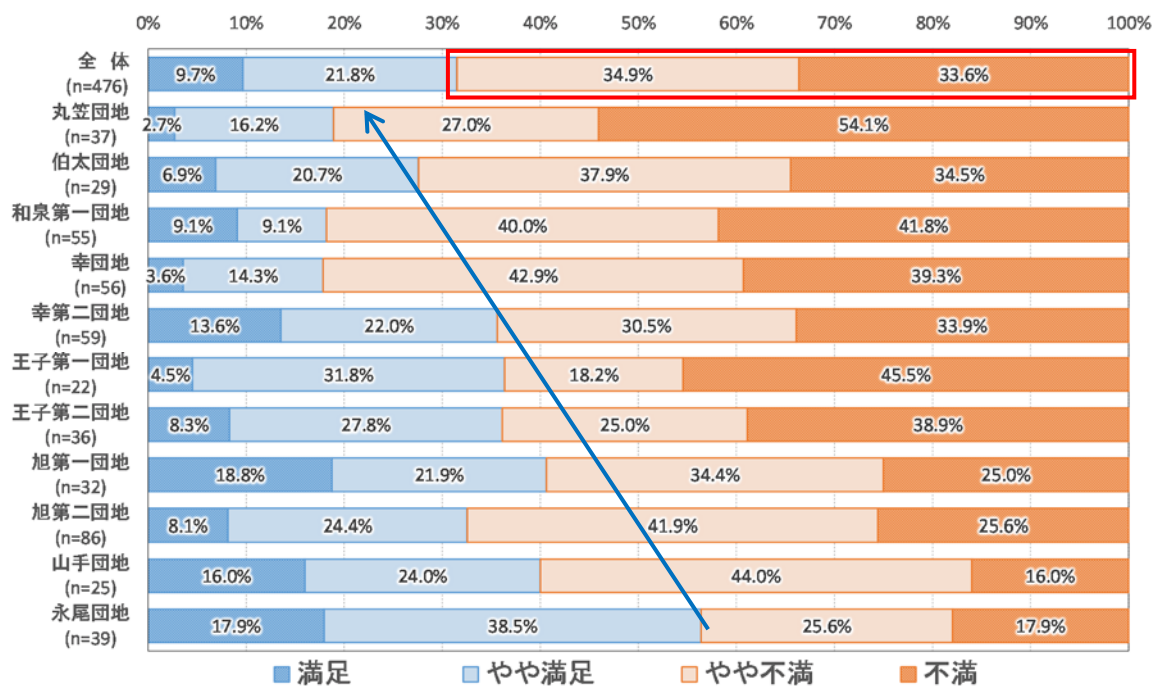


○世帯構成別 住宅の広さ・部屋数の満足度



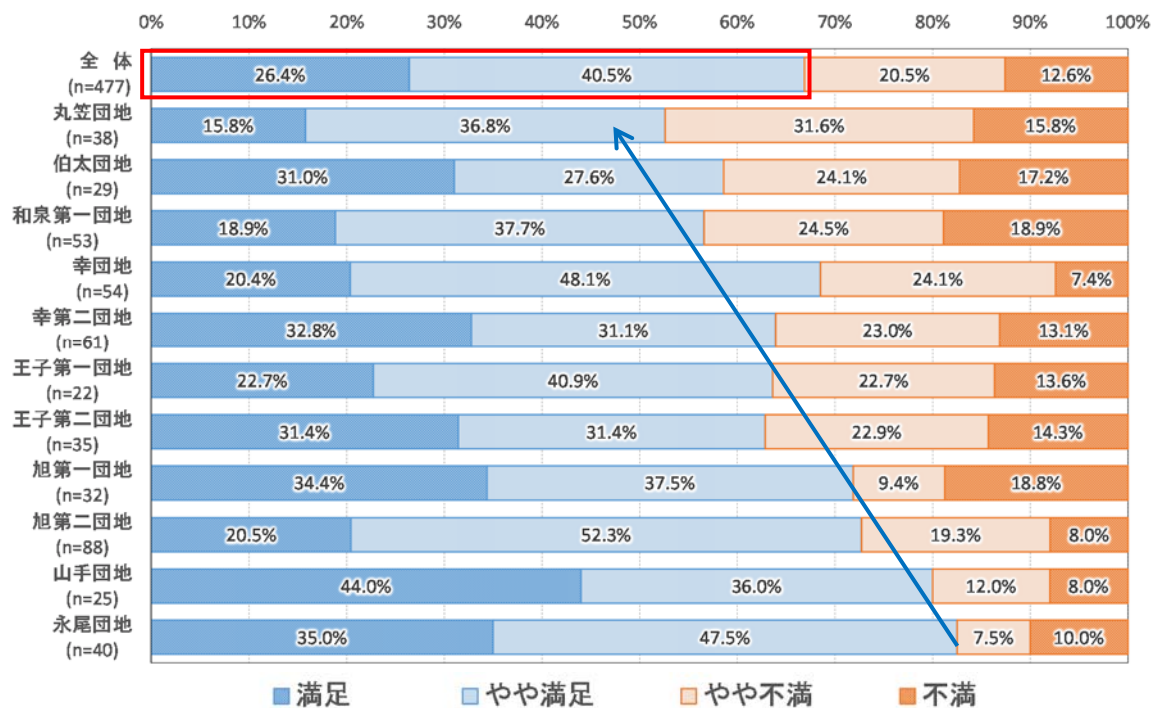
■建物のいたみ具合

- ・全体の約7割が「不満」または「やや不満」と回答している。
- ・団地別にみると、竣工時期の古い団地で満足度が低い傾向にある。



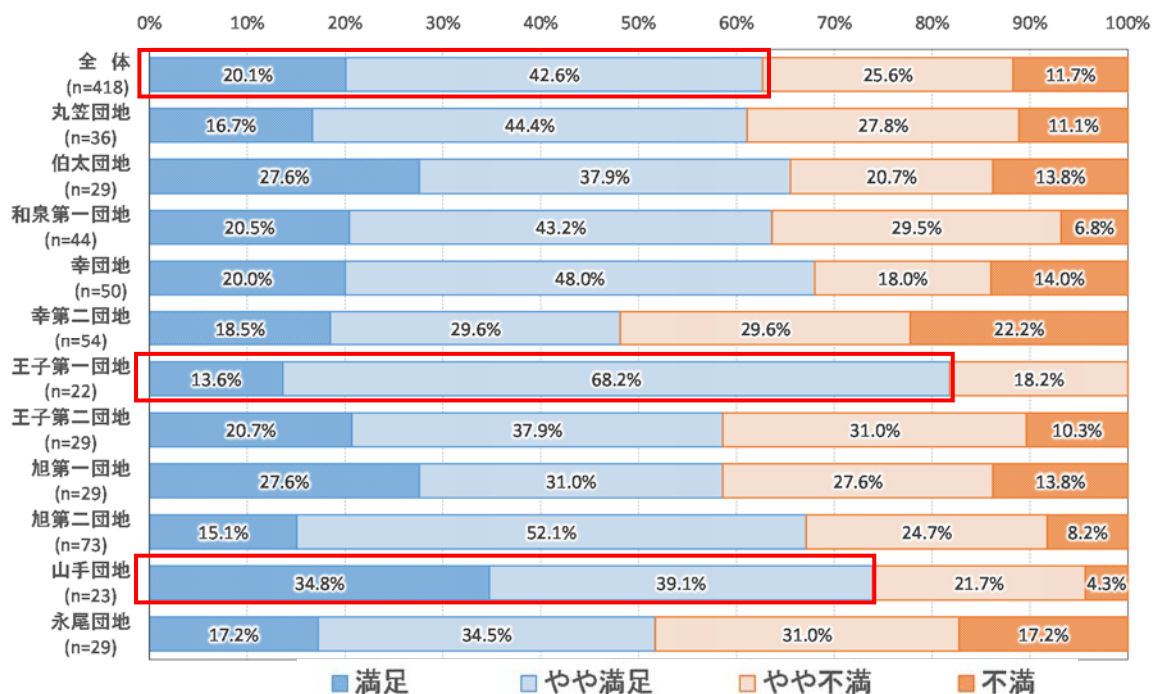
■室内の移動のしやすさ

- ・全体の7割近くが「満足」または「やや満足」と回答している。
- ・団地別にみると、竣工時期の古い団地で満足度がやや低い傾向にある。



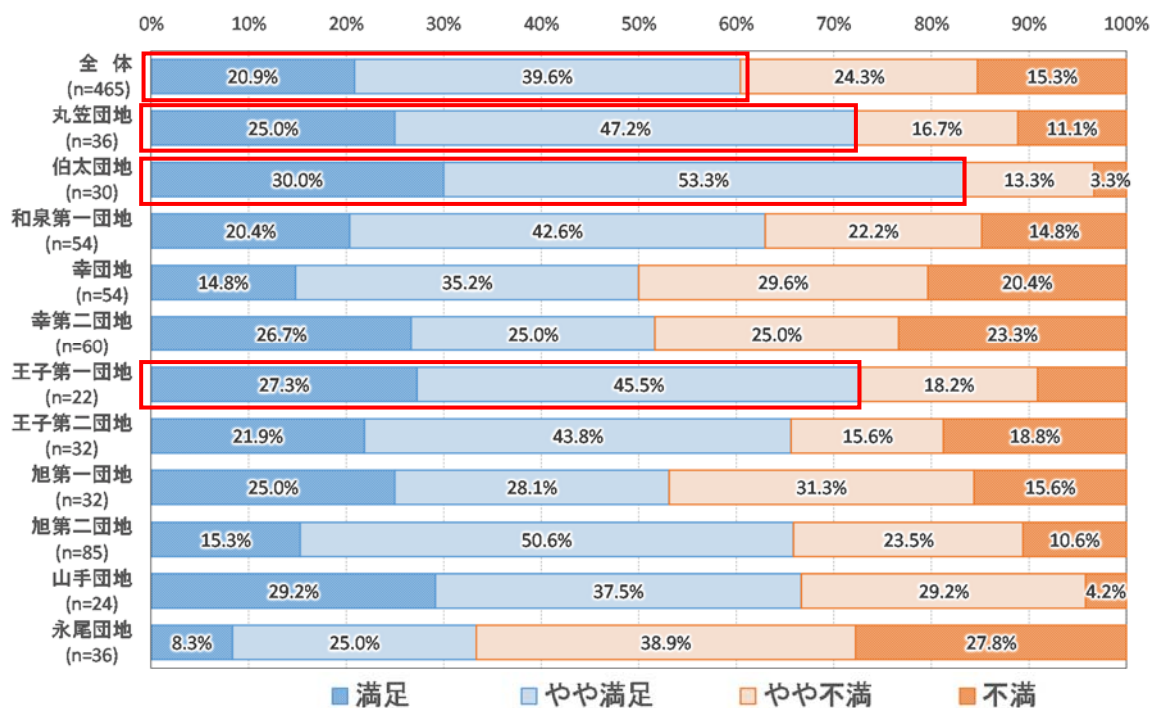
■集会所などの交流施設

- ・全体の2割が「満足」、4割が「やや満足」と回答している。
- ・団地別にみると、王子第一、山手団地で満足度が比較的高い。



■団地敷地内の快適さ

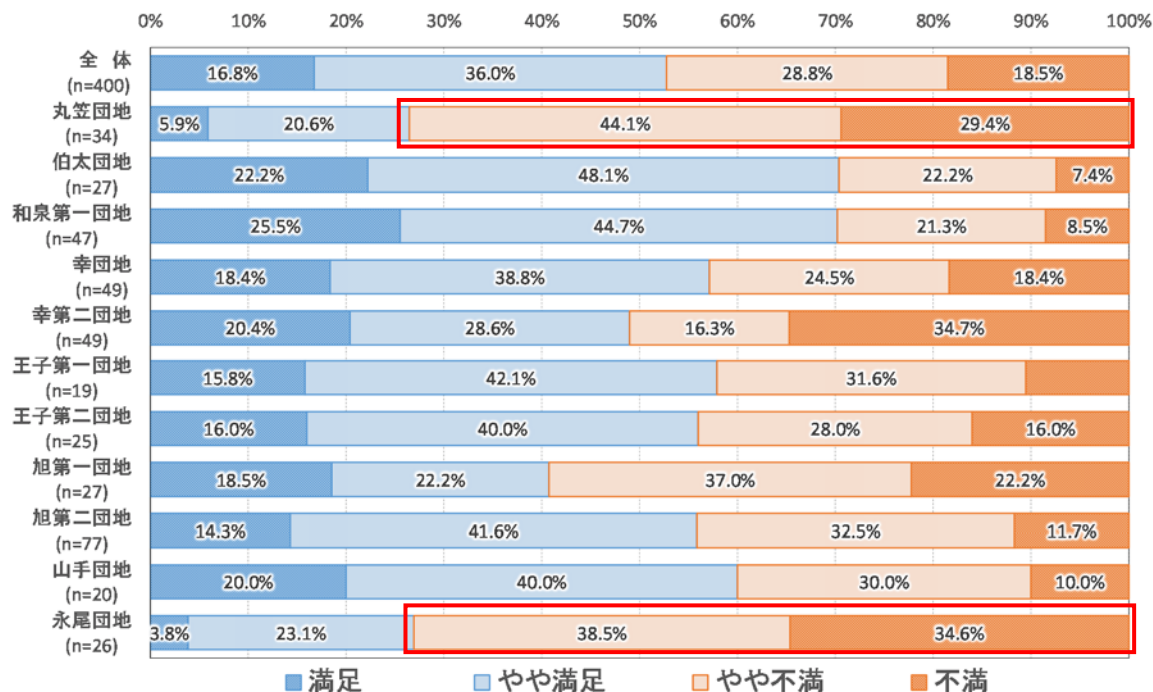
- ・全体の2割が「満足」、4割が「やや満足」と回答している。
- ・団地別にみると、丸笠、伯太、王子第一団地で満足度が比較的高い。



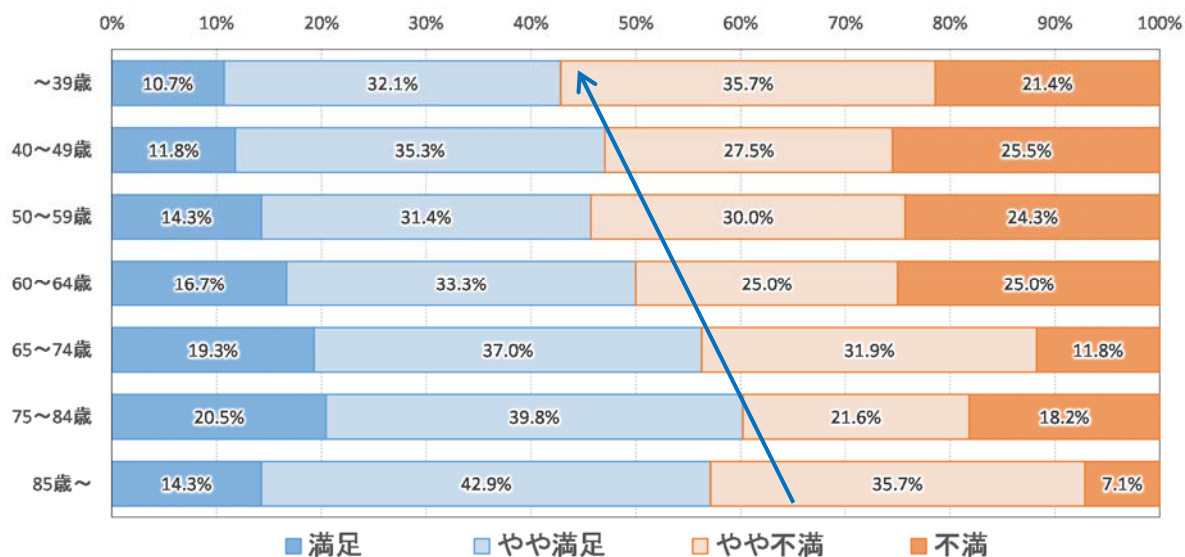
■子どもの遊び場・公園

- ・全体の約半数が「満足」または「やや満足」と回答している。
- ・団地別にみると、丸笠、永尾団地で約7割が「不満」または「やや不満」と回答している。
- ・世帯主年齢別にみると、世帯主年齢が低いほど満足度が低い傾向にある。

○団地別 子どもの遊び場・公園の満足度

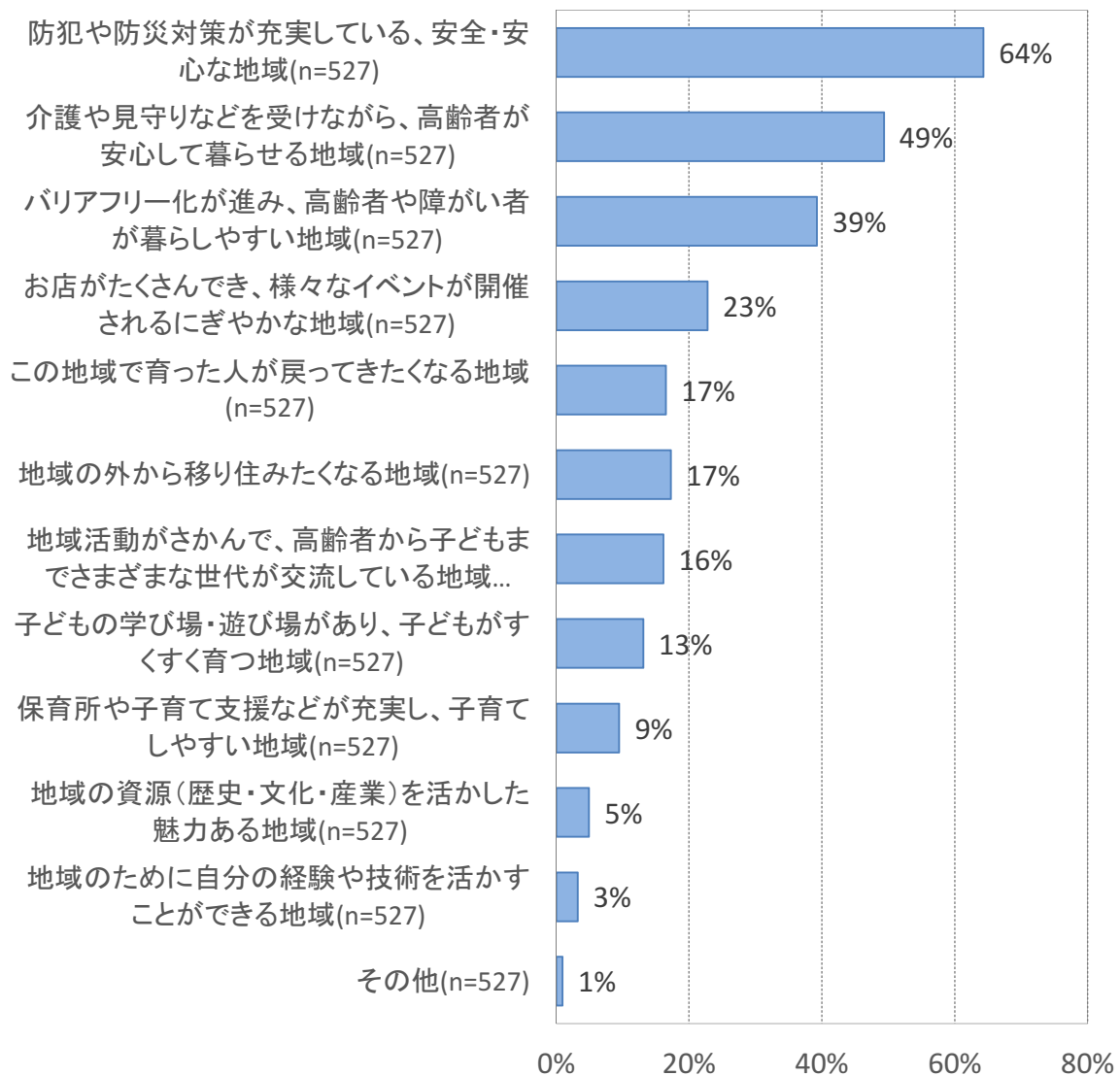


○世帯主年齢別 子どもの遊び場・公園の満足度



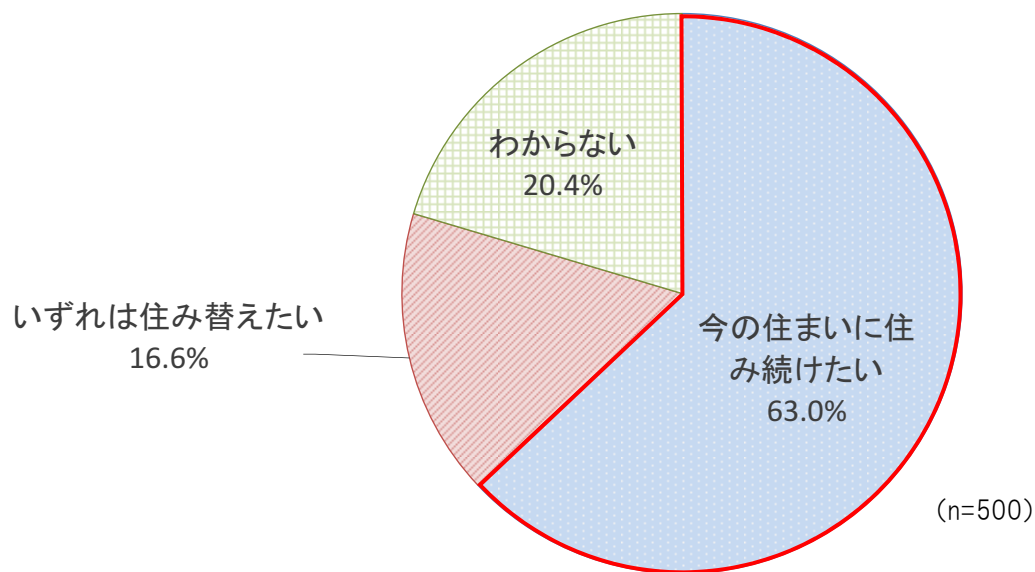
(20) 今後、どのような地域になればよいと思うか

・「防犯や防災対策が充実している、安全・安心な地域」が64%と最も高く、次いで「介護や見守りなどを受けながら、高齢者が安心して暮らせる地域」が49%、「バリアフリー化が進み、高齢者や障がい者が暮らしやすい地域」が39%、「お店がたくさんでき、様々なイベントが開催されるにぎやかな地域」が23%と続いている。

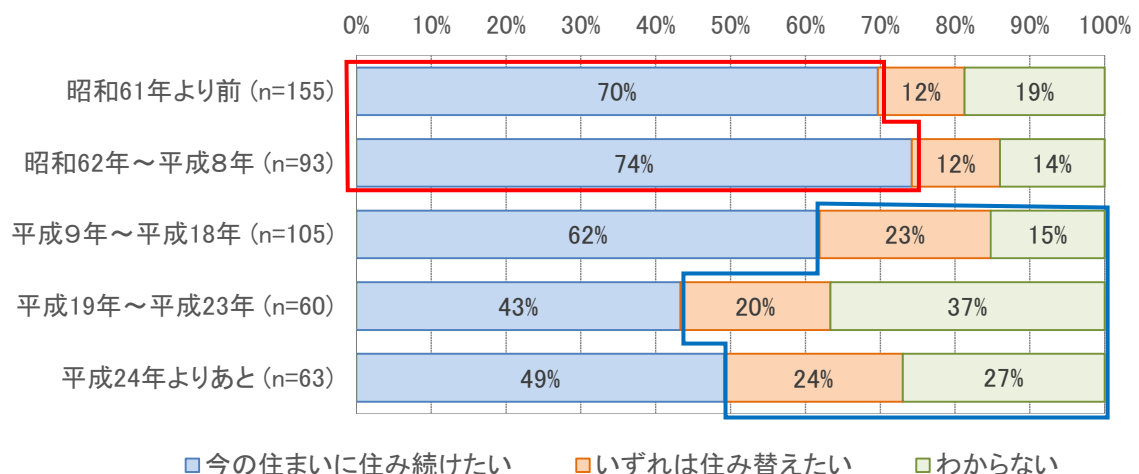


(21) 居住継続・住み替え意向

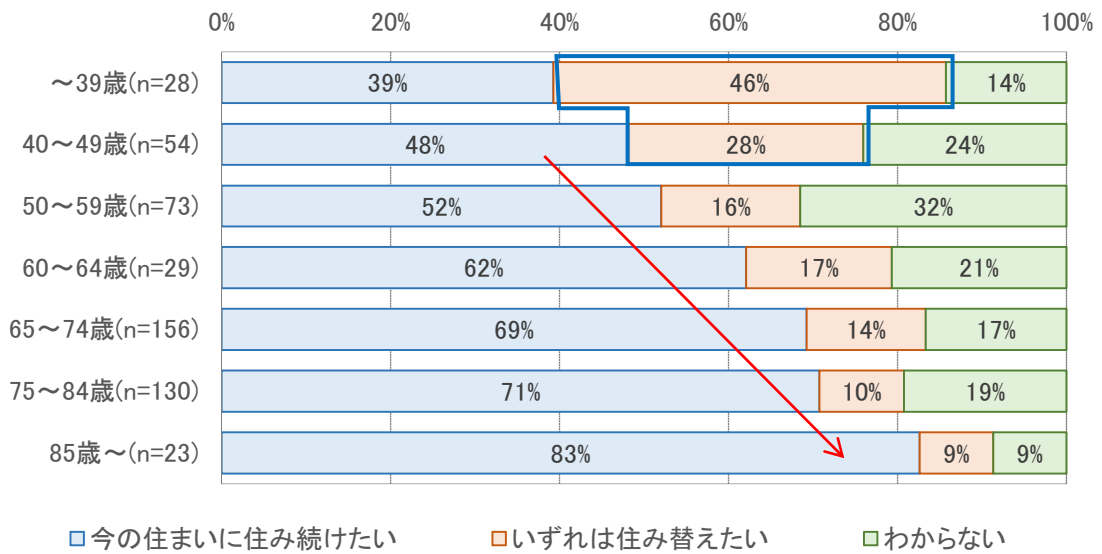
- 全体の63%が「今の住まいに住み続けたい」、17%が「いずれは住み替えたい」と回答している。
- 入居時期別にみると、平成8年以前に入居した世帯（入居年数21年以上）では、7割が住み続けたいと回答している。一方で、平成9年以降に入居した世帯では「今の住まいに住み続けたい」は4～6割程度にとどまっており、2割が「いずれは住み替えたい」と回答し、「わからない」の割合も高い。
- 世帯主年齢別にみると、世帯主年齢が高いほど「今の住まいに住み続けたい」の割合が高く、世帯主年齢が低いほど「いずれは住み替えたい」の割合が高い傾向にある。



■入居時期別 居住継続・住み替え意向

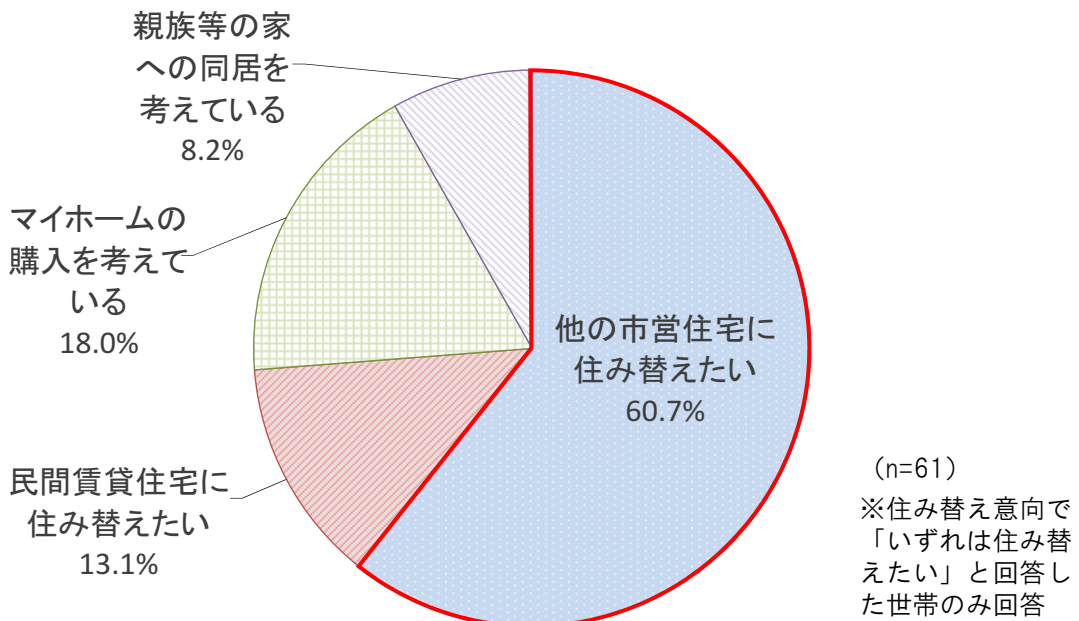


■世帯主年齢別 居住継続・住み替え意向

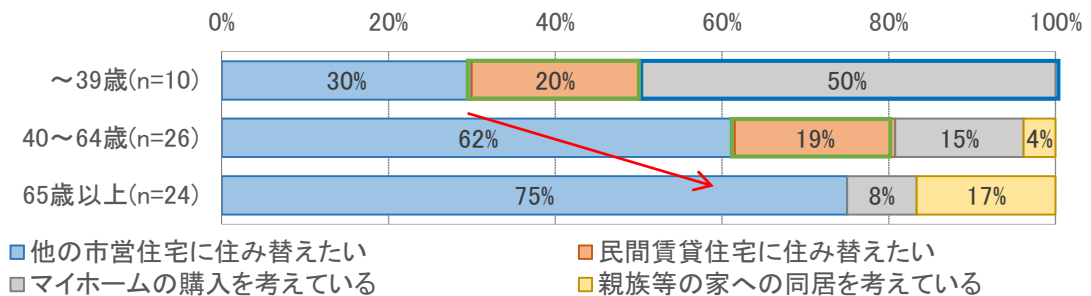


(22) 住み替え先の希望（「いずれは住み替えたい」世帯）

- ・全体の6割が「他の市営住宅に住み替えたい」と回答している。
- ・世帯主年齢別に見ると、年齢が高くなるほど他の市営住宅を希望する世帯の割合が高い。
- ・39歳以下では半数が「マイホームの購入を考えている」と回答している。
- ・64歳以下の2割が民間賃貸住宅を希望している。



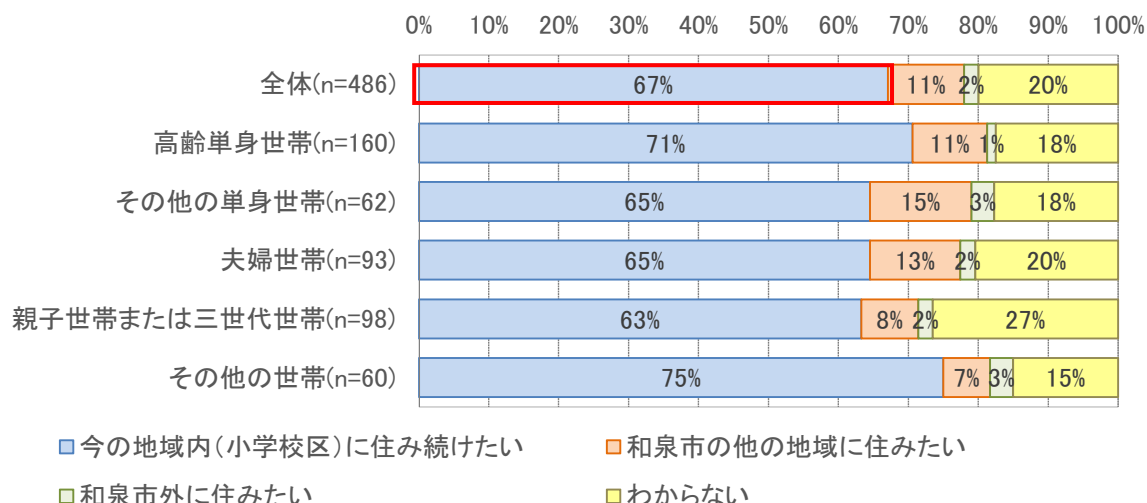
■年齢別 住み替え先の希望



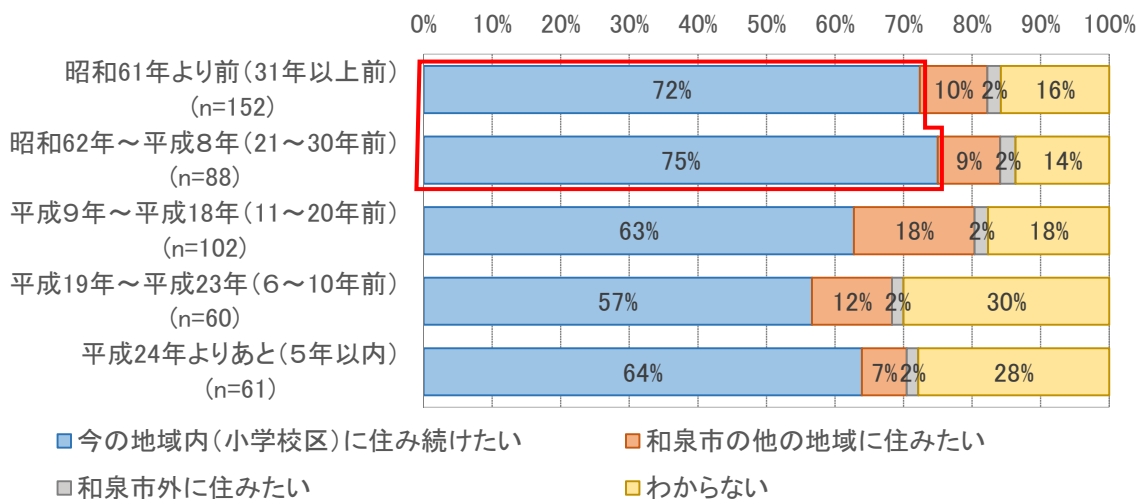
(23) 市営住宅を集約建て替える場合の住み替え先の希望地域

- ・全体の3分の2が「今の地域内（小学校区）に住み続けたい」と回答し、世帯構成による大きな差はない。
- ・入居時期別に見ると、平成8年以前に入居した世帯（入居年数21年以上）では、7割以上の世帯が「今の地域内（小学校区）に住み続けたい」と回答している。平成9年以降に入居した世帯では、「今の地域内（小学校区）に住み続けたい」は6割程度に留まる一方で、「わからない」の割合が高くなる。

■世帯構成別 住み替え先の希望地域

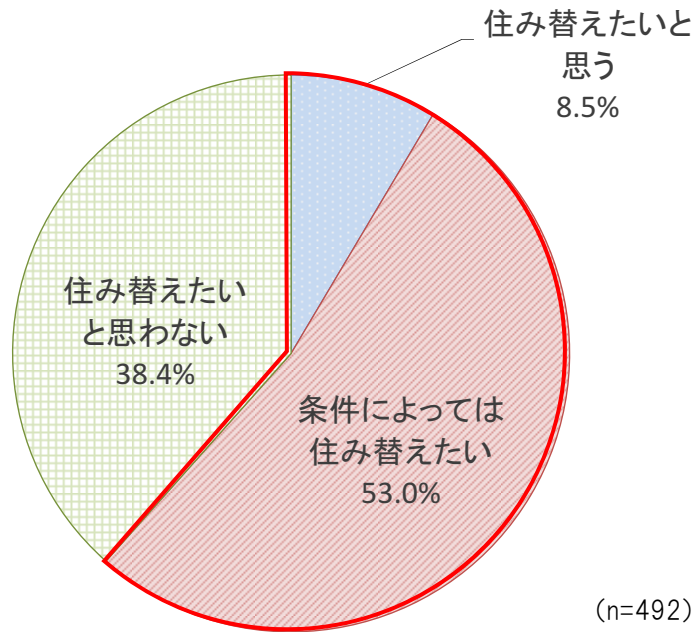


■入居時期別 住み替え先の希望地域

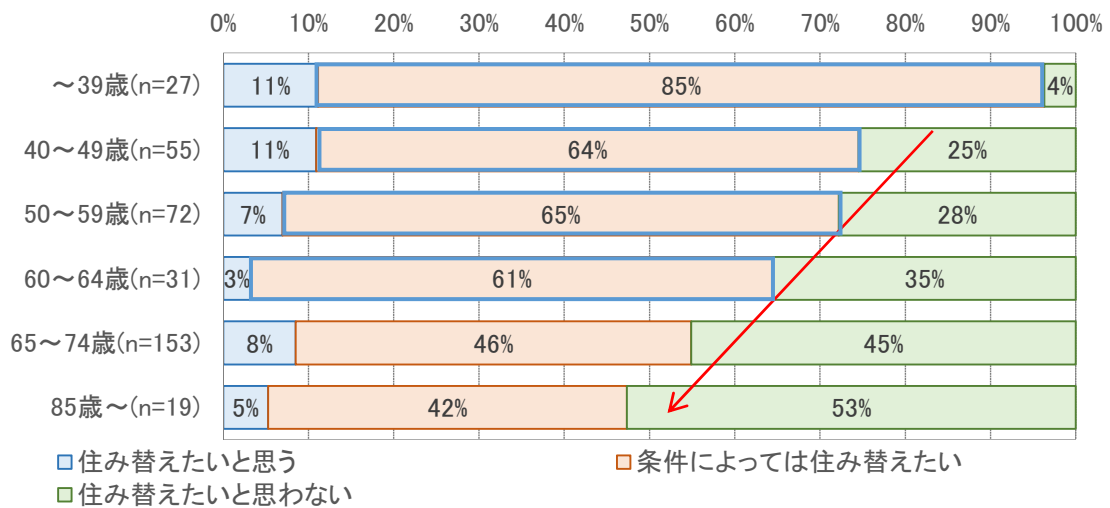


(24) 今と同じ家賃で民間賃貸住宅に入居できる場合の住み替え意向

- ・全体の6割が「住み替えたい」または「条件によっては住み替えたい」と回答。
- ・世帯主年齢別にみると、世帯主年齢が高いほど「住み替えたいと思わない」の割合が高い。一方、世帯主年齢が低い世帯ほど「条件によっては住み替えたい」の占める割合が高く、39歳以下では8割強、40～64歳では約6割である。また、85歳以上であっても半数近くが「住み替えたい」または「条件によっては住み替えたい」と回答している。



■世帯主年齢別 民間賃貸住宅への住み替え意向

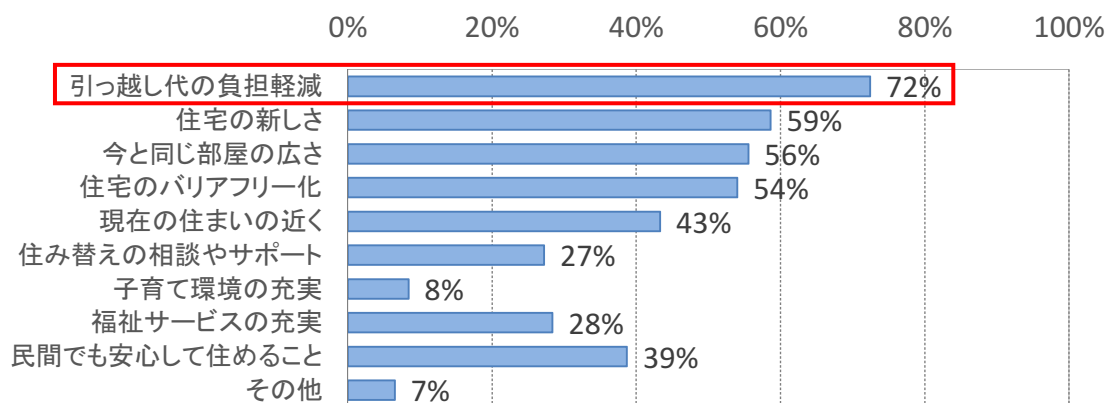


(25) 住み替えの条件（「条件によっては住み替えたい」世帯）

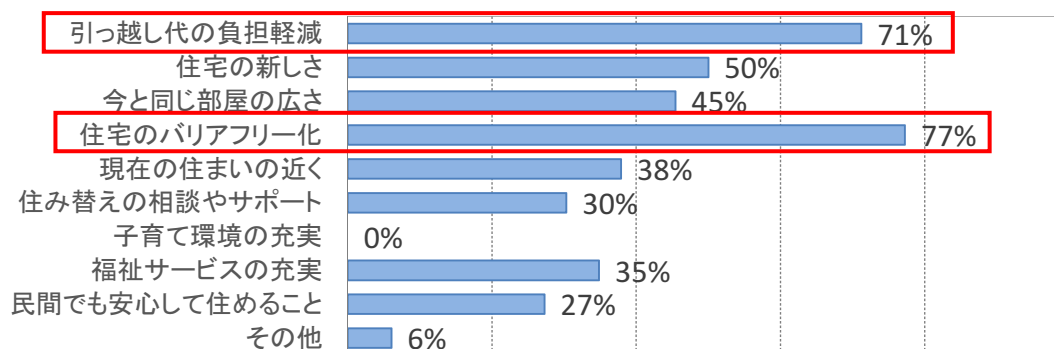
- ・全体では「引っ越し代の負担軽減」が約7割と最も高く、次いで住宅のハードの質に関する「住宅の新しさ」「今と同じ部屋の広さ」「住宅のバリアフリー化」が5～6割である。
- ・高齢単身世帯では「住宅のバリアフリー化」の割合が約8割と最も高く、次いで「引っ越し代の負担軽減」の割合が高い。
- ・その他の単身世帯では「引っ越し代の負担軽減」が約9割と最も高く、「住宅の新しさ」「今と同じ部屋の広さ」も7割を超える。
- ・夫婦世帯では「引っ越し代の負担軽減」と「住宅のバリアフリー化」が同率で最も高い。
- ・親子世帯および三世帯世帯では「引っ越し代の負担軽減」の割合が最も高く、次いで「今と同じ部屋の広さ」の割合が高い。
- ・その他の世帯では「引っ越し代の負担軽減」の割合が最も高く、「住宅の新しさ」が続く。

※ 民間賃貸住宅に「条件によっては住み替えたい」と回答した世帯のみ回答（複数回答）

■全体 (n=261)



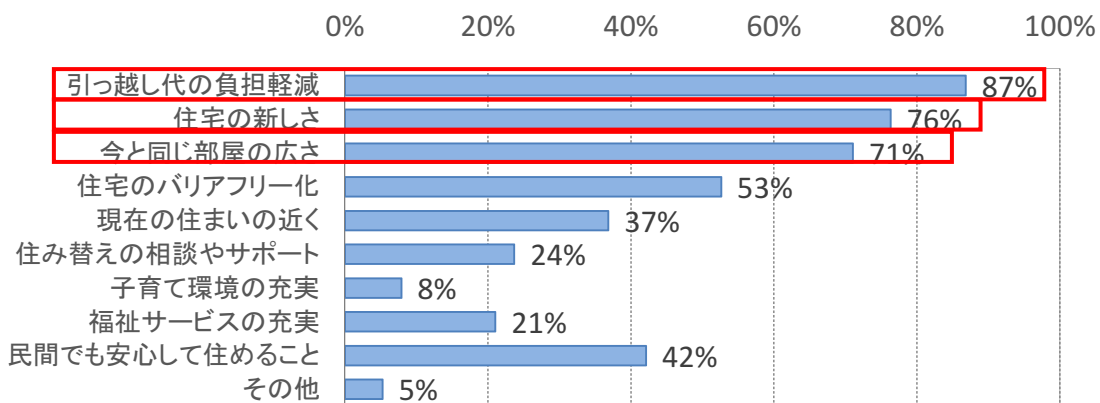
■高齢単身世帯 (n=66)



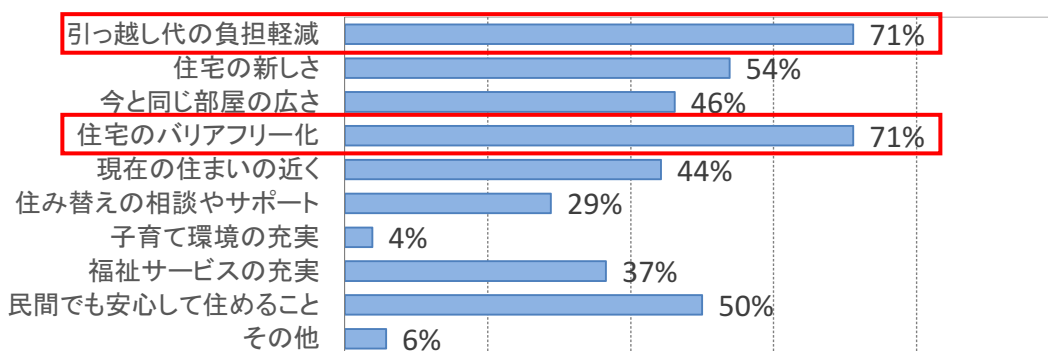
<選択肢一覧>

1. 引っ越し代が過度な負担とならなければよい（引っ越し代の負担軽減）
2. 住宅が新しければよい（住宅の新しさ）
3. 部屋の広さが今と同じであればよい（今と同じ部屋の広さ）
4. 階段や段差が少ないバリアフリーの住宅であればよい（住宅のバリアフリー化）
5. 現在の住まいの近くであればよい（現在の住まいの近く）
6. 住み替えについての相談やサポートがあればよい（住み替えの相談やサポート）
7. 子育て環境が充実していればよい（子育て環境の充実）
8. 福祉サービスが充実していればよい（福祉サービスの充実）
9. 民間の管理でも安心して住めればよい（民間でも安心して住めること）

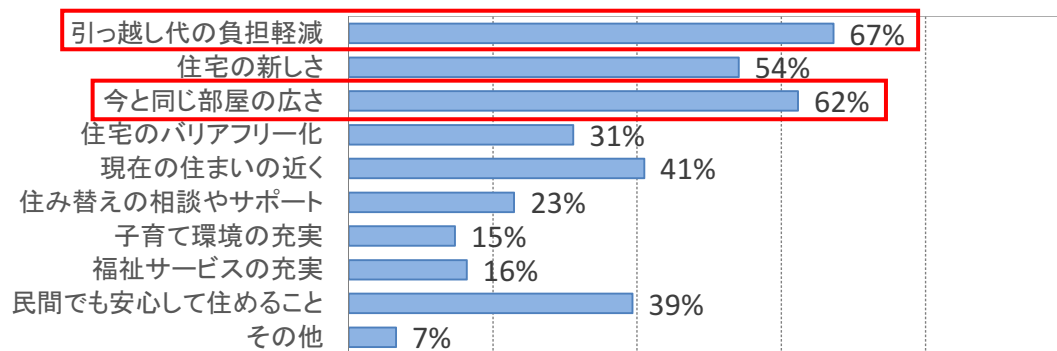
■その他の単身世帯 (n=38)



■夫婦世帯 (n=52)



■親子世帯または三世帯世帯 (n=61)



■その他の世帯 (n=39)

